

早稲田大学インクルーシブ教育学会 ニュースレター

2018 年（平成 30 年度）・NO.3

第3回 研修会

「インクルーシブ教育

実践交流会」

講師：早稲田大学教授 本田恵子先生
早稲田大学教授 高橋あつ子先生

2018 年 9 月 24 日（月）
早稲田大学 16 号館 105 教室

9:00 開会
9:00～ 9:30 はじめの会
9:30～10:20 ポスター発表 1
10:30～11:20 ポスター発表 2
11:20～12:00 全体討議 講評
12:00 閉会

本研修会は、3 月 17 日の実践研究発表会
の中間発表と位置づけ、研究デザインのポスター
発表を行いました。

発表を通して、それぞれが考えるインクルーシブ
教育の姿と、インクルーシブ教育実現のための
風土づくりについて、考えを深める機会となりま
した。

参加人数 38 人（学生 15 人 一般 23 人）

「インクルーシブ教育実践交流会」

この研修会は、第 1 回研修会「実践研究の進め方」の受講者が、現在取り
組んでいる、または、これから取り組もうとしている研究のデザインについて、ポス
ターで発表し合い、研究を深めました。発表数は 16 件、インクルーシブ教育を実
践している学会員（学生部会含む）と早稲田大学の学生による、学びのユニ
バーサルデザインや MI 理論を取り入れた授業実践、アンガーマネジメントなど
の発表がありました。発表後の全体討議では、聴講者の学んだ点や今後に向け
ての改善案などについて、発表者と熱く語り合いました。

本田恵子先生と高橋あつ子先生による総評では、発表者の振り返りを目的、
方法、結果、考察に分けて整理しながら、一人一人課題と今後の取り組みにつ
いてご教示くださいました。特に、先行研究の重要性と研究目的設定のあり方
（誰の何を調べたいのか、なぜ調べたいのか）について、具体的にご助言いた
だき、参加者は第 1 回研修会の「実践研究の進め方」の概論と関連付けて理解
を深めました。

感想 ～アンケートより～

- ・エビデンスの重要性、研究テーマ、探
求の考え方など、ぼんやりとしか把握し
ていなかったことを自覚した。
- ・アンケートの取り方、結果の分析方法
など、まだまだ足りないことがあること
に気づいた。会場の皆様、先生方の意見
をいただき、ありがたかった。
- ・ポスター発表の時間がたっぷりあったので、じっくり議論できた。
- ・自分の興味と重なる研究もあり、意見交流に参加できたのは有意義だった。今
回は参加のみだったので、発表者側になれるようにになりたい。
- ・ポスター発表に関して①誰のどのような困り感の解消につながるか（期待でき
るか）、②それがどうインクルーシブ教育推進に寄与するか（期待できるか）を
示すと目的と方向性がわかりやすくなったと感じた。
- ・データ分析、アンケートの作成目的、分析、活用などについて改めて勉強になっ
た。研究テーマも本当に勉強になった。皆様の努力が素晴らしい。

